

4-4. 実例/食品製造業等の生産性向上事例(優良事例)の横展開



■業種：パン・菓子（茨城県）／■効率化工程：生産／■効率化事例：前工程

攪拌ミキサーと運搬ライン化

（生地原料の投入口カスタマイズとカート運搬レール設置）

（導入前）20kg 袋入り小麦粉を作業員が持ち上げてミキサーに投入し、練った生地も作業員が持ち運んでいた。



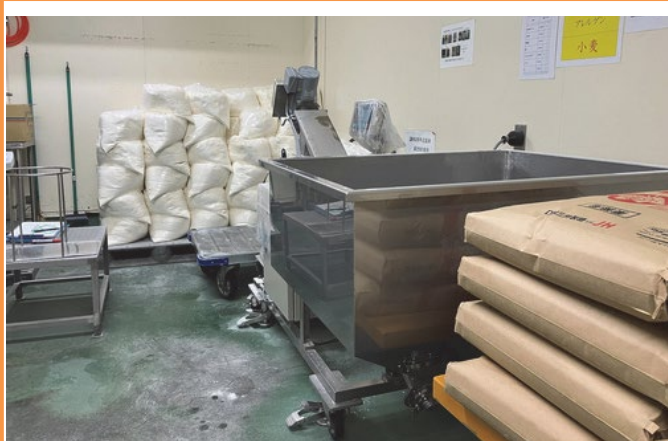
（導入後）ミキサー及び周辺設備を変更し投入動作を軽減。生地が入ったタンクを載せたカートおよびレールを設置し運搬の負担を軽減。

効果①生産量増加

効果②作業員の定着率が上がった

効果③収益増を給与に還元できた

企業データ	売上規模	10億円未満
	従業員数	40名程度
	生産量	4t／日
	工場稼働時間	8時間／日
生産性向上	製造速度	120個／時 →170個／時
	生産時間	3時間減



原料投入口をカスタマイズしたミキサー



焼成ライン



充填・仕上ライン

4-4. 実例/食品製造業等の生産性向上事例(優良事例)の横展開

■業種：農産加工（高知県）／■効率化工程：梱包・運搬／■効率化事例：機械・ロボット

包装充填機&パレタイザー (原料調達補助事業を活用)

(導入前) 冷凍製品のシール作業や梱包作業、荷積みは全て手作業で行っていた。



(導入後)
包装充填機の導入で充填から梱包まではほぼ自動化できた。パレタイザー導入で荷積みは完全自動化した。

効果①省人化

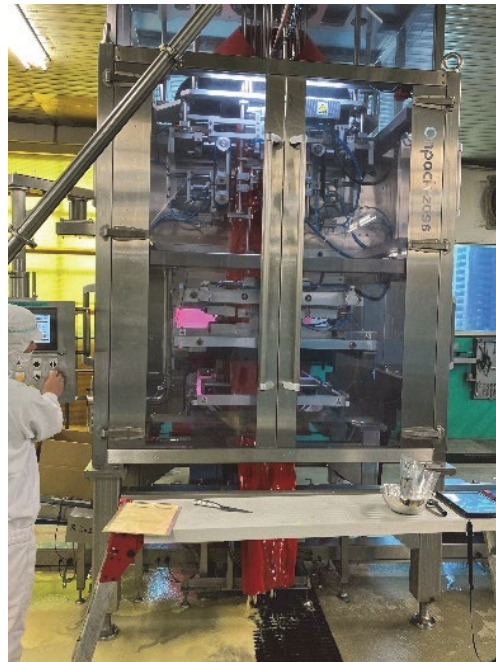
効果②生産量増加

効果③包装資材を変更し、**資材費が抑制**できた

効果④**危険作業の軽減**で作業員の意欲向上



原料選別加工の様子



縦ピロー包装充填機



パレタイザー

企業データ	売上規模	30～100億円未満
	従業員数	250名程度
生産性向上	生産量	20%増
	人員	10人→7人
	コスト削減	1000万円/年

4-4. 実例/食品製造業等の生産性向上事例(優良事例)の横展開

■業種：農産加工（高知県）／■効率化工程：梱包・運搬／■効率化事例：機械・ロボット

包装充填機&パレタイザー (原料調達補助事業を活用)

(導入前) 冷凍製品のシール作業や梱包作業、荷積みは全て手作業で行っていた。



(導入後)
包装充填機の導入で充填から梱包まではほぼ自動化できた。パレタイザー導入で荷積みは完全自動化した。

効果①省人化

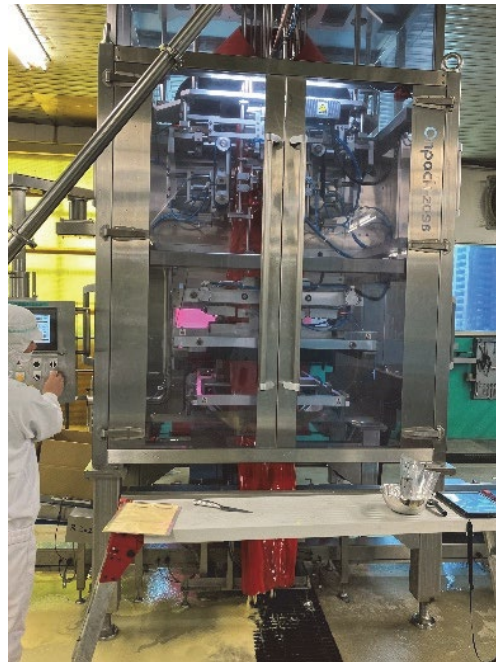
効果②生産量増加

効果③包装資材を変更し、**資材費が抑制**できた

効果④**危険作業の軽減**で作業員の意欲向上



原料選別加工の様子



縦ピロー包装充填機



パレタイザー

企業データ	売上規模	30～100億円未満
	従業員数	250名程度
生産性向上	生産量	20%増
	人員	10人→7人
	コスト削減	1000万円/年

4-4. 実例/食品製造業等の生産性向上事例(優良事例)の横展開



■業種：調味料類（徳島県）／■効率化工程：梱包・運搬／■効率化事例：機械・ロボット

チューブ用充填ライン

（ケチャップ・ソースの充填～箱詰め自動化）

（導入前）充填後に冷却など一部手作業が必要な工程があり、包装や箱詰めを翌日に行っていた



（導入後）

1日で充填後そのままライン上で箱詰めまで行えるようになった

効果①生産量増加

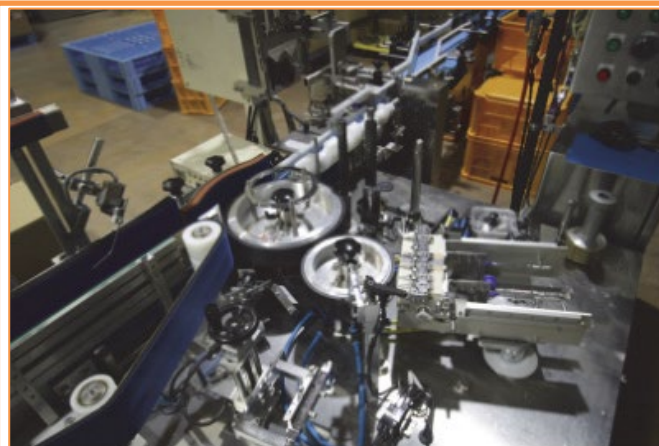
効果②他行程に人員を回し、工場内の効率化を図れた

効果③社員の休日日数を増やせた

企業データ	売上規模	10～30億円未満
	従業員数	30名程度
生産性向上	充填速度	50本／分 →100本／分
	生産量	30～50%増
	人員	10人→8人



チューブ充填ライン



包装室（ラベラーと印字検査の様子）



包装工程（包装機と段ボールケーサー）

4-4. 実例/食品製造業等の生産性向上事例(優良事例)の横展開

■業種：麺類（福井県） ／ ■効率化工程：製造 ／ ■効率化事例：DX/IoT

製造工場IoT監視システム

（「IoT・AI・ロボット等導入促進事業補助金」を活用）

（導入前）機械トラブルが発生しても、経年劣化なのか、麺が詰まった一時的な停止なのか正しく判別できずにいた



（導入後）

工場から離れた事務所でも設備の稼働状況が一目瞭然となった

効果①作業員の正当な評価が可能となった

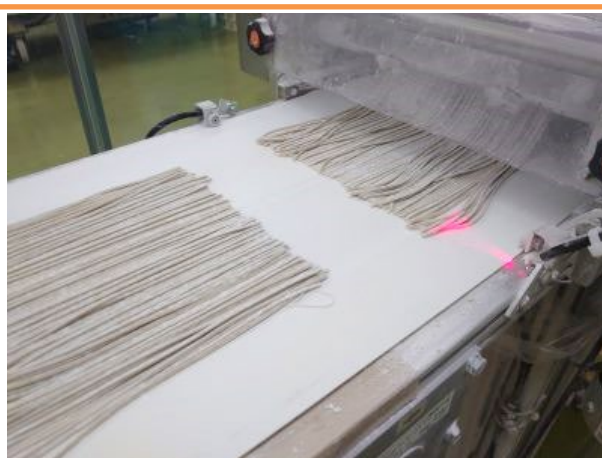
効果②前年度実績と比較し、次年度の目標を立てやすくなった

効果③作業員の作業効率化に対する意識が高まった

企業データ	売上規模	10～30億円未満
	従業員数	100名程度
	生産量	5t／日
	工場稼働時間	8時間／日
生産性向上	ロス率	10%台 →2～3%
	機械稼働率	80%→95%



色で機械設備の状況が確認できる管理画面



製造ラインを流れるそば。切れ端が詰まっていないかセンサーが感知



そば粉があふれる前にセンサーが感知。回転灯が起動し、サイレンが鳴る。

4-5. 持続的な食料システム確立緊急対策事業

【令和6年度補正予算額 4,721百万円】

<対策のポイント>

輸入原材料の価格の高止まりや国際的な購買力の低下など、食品製造事業者等においては原材料の調達リスク等が大きな課題となっています。このような課題に対応するため、食品製造事業者等による**産地との連携強化**や**新技術の導入**による**食品製造業の生産性向上**、**付加価値の向上**を図る取組を支援することにより、持続的な食料システムの確立を図ります。

<事業目標>

食料システムの強靱化による食料安定供給の確保

事業の内容

1. 産地連携推進緊急対策事業

4,321百万円

産地と連携した取組を行う計画を策定した食品製造事業者に対して、**食品製造事業者が産地を支援する取組**（食品製造事業者から産地に農業機械・資材を貸与・提供する等）、**産地との連携による国産原材料の取扱量増加に伴う機械設備等の導入、新商品の開発・製造・PRの取組**を支援します。

2. 新技術導入緊急対策事業

300百万円

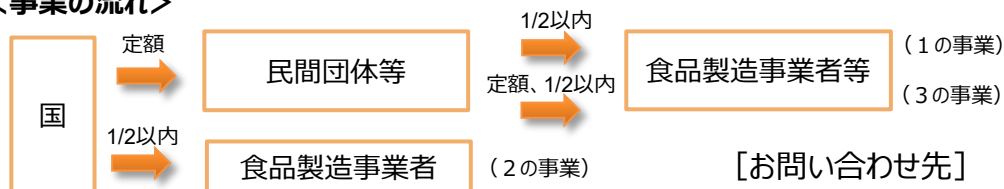
原材料を安定的に調達しつつ生産性を向上させるため、産地と連携した取組を行う計画を策定した食品製造事業者に対して、**製造ラインの自動化等の省人化や生産性の向上に資する新技術（機械設備等）の導入**を支援します。

3. 地域の食品産業ビジネス創出プロジェクト支援事業

100百万円

食品産業が農林水産業等と連携し、持続的な食料システムを確立するため、**多様な関係者の連携を推進するプラットフォームを構築・活用**し、地域の食品企業や農林漁業者等が参加する**コンソーシアム**において、**国産原材料の活用等の付加価値向上**に向けた**新しい食品ビジネスを創出する取組等**を支援します。

<事業の流れ>



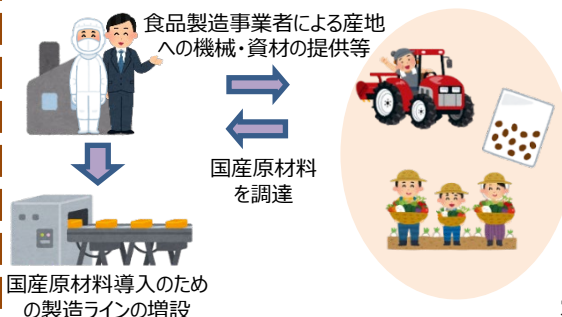
【お問い合わせ先】

(1の事業) 大臣官房新事業・食品産業部食品製造課 (03-6744-2089)
(2の事業) 食品製造課 (03-6738-6166)
(3の事業) 企画グループ (03-6744-2063)

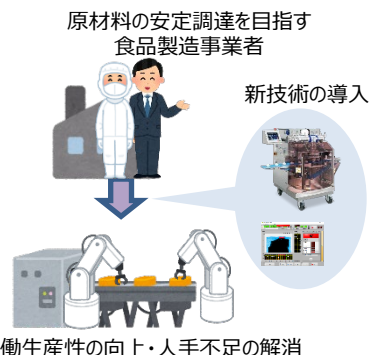
事業イメージ

産地と連携した取組を行う計画を策定した食品製造事業者に対する支援

産地連携推進緊急対策事業



新技術導入緊急対策事業



地域の食品産業ビジネス創出プロジェクト支援事業



4-6. 新技術導入緊急対策事業

【令和6年度補正予算額 300百万円】

食料システムの持続性確保の観点から、原材料を安定的に調達しつつ生産性を向上させるため、産地と連携した取組を行う計画を策定した食品製造事業者に対して、製造ラインの自動化等の省人化や生産性の向上に資する新技術（機械設備等）の導入を支援します。

【本事業の対象となる新技術の例】

- ✓ 従来は複数の機械を併用して製造していた製品・工程を一つの機械で対応するなど、設備投資の効率化に資する技術
- ✓ 既存製品より生産効率が高く、小型化され工場への導入が容易な技術
- ✓ 他の製造業では普及しているにもかかわらず、食品製造業では業界特有の理由により開発・普及されていない技術

生産効率が高く、小型化され工場への導入が容易な技術



従来の機械は大きいことから、工場内の限られたスペースへの設置が困難



小型化により工場内の増設・配置換え作業が簡略化

食品製造業界特有の理由により開発・普及されていない技術



衛生面の課題、柔らかい食材を掴む技術の開発が未開発等、食品製造業界特有の理由で、容器への盛付作業は人が実施



自動盛付装置の導入により労働生産性の向上・雇用不足の解消

【新技術（機械設備等）の例】

- ・多層包あん成形機
- ・自動パン粉付け機
- ・食品自動充てん・包装机
- ・弁当・総菜用盛付ロボット
- ・製品検品用X線センサーシステム
- ・製品自動箱詰め装置



多層包あん成形機



自動パン粉付け機



弁当・総菜用盛付ロボット



製品検品用X線センサーシステム

【補助の概要】

補助対象者	食品製造事業者（※） [中堅・中小企業に限る]
補助対象経費	以下の条件を満たす機械設備 ・生産効率が3%/年 以上 ・販売後3年程度未満
補助上限	5,000万円
補助率	1/2 以内
補助要件	・産地と連携した国産原材料調達計画の策定 ・生産効率の対前年比3%以上向上
事業の流れ	国 $\xrightarrow{1/2 \text{ 以内}}$ 食品製造事業者

（※）食品の加工・製造を行っている事業者、又はこれらとともに事業を実施しようとする事業者。

R7年1月に公募は終了しました

4-7.持続的な食料システムの確立

【令和7年度予算概算決定額 145（－）百万円】
（令和6年度補正予算額 4,721百万円）

＜対策のポイント＞

持続的な食料システムの確立に向けて、「地域連携推進支援プラットフォーム」を創設し、地域の食に関わる産業を先導する食品企業と農林漁業者を始めとする地域の多様な関係者の連携を促進し、新たなビジネスの創出等を支援します。また、食品企業による産地連携や製造現場の自動化、資材標準化等による業界横断的な生産性向上の取組を支援します。

＜事業目標＞

- 地域連携推進支援コンソーシアムで創出された新たなビジネス数（94件〔令和11年度まで〕）
- 食品企業と産地が連携したモデル的取組の創出数（9件〔令和9年度まで〕）

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 持続的な食料システム確立に向けた推進支援体制の構築 56（－）百万円 【令和6年度補正予算額】55百万円

地域の食に関わる産業を先導する食品企業や農林漁業者等が参加するプラットフォームを設立し、専門家派遣のほか、広域産地連携マッチング、モデル実証の形成等を通じて、食品企業と農林漁業者等が連携したコンソーシアムの取組を支援します。

2. 地域型食品企業等連携促進事業 66（－）百万円 【令和6年度補正予算額】45百万円

① 地域食料システムプロジェクト推進事業

都道府県が中心となり、「地域連携推進支援コンソーシアム」を設置し、食品企業や農林漁業者、関連業種等との連携強化を促進し、新しい食品ビジネスの創出等を支援します。

② 地域型協調領域実証

地域の食料システムの持続性向上に資する地域の食品企業等の協調事例を生み出す取組を支援します。

3. テーマ型連携推進支援 23（－）百万円 【令和6年度補正予算額】4.621百万円

① テーマ型食品企業等連携促進事業

自動化、資材標準化等による業界横断的な生産性向上の取組を支援します。

② 産地連携推進緊急対策事業

産地を支援する取組や産地との連携による国産原材料の取扱量増加に伴う機械設備等の導入等を支援します。

③ 新技術導入緊急対策事業

産地と連携した食品企業の生産性向上に資する新技術の導入を支援します。

2. 地域連携推進支援コンソーシアム

（事務局：都道府県）

食品企業、農林漁業者、
行政機関、金融機関等

地域食料システムプロジェクト

- ・地域の核となる食品企業・農林漁業者等が連携した新規ビジネスの創出
- ・食品企業への支援

地域型協調領域実証

- ・地域の関係者間で連携した共同実証・研究等



1. 地域連携推進支援プラットフォーム

（事務局：民間団体）

食品企業、農林漁業者、
メーカー、金融機関等

- ・助言・専門家派遣
- ・事例の横展開

- ・広域産地連携マッチング、
モデル実証を行うコンソーシアムの形成

3. テーマ型連携推進支援コンソーシアム

（事務局：民間団体）

テーマ型食品企業等連携促進事業

- ・食品製造の自動化に資する使用資材の標準化等

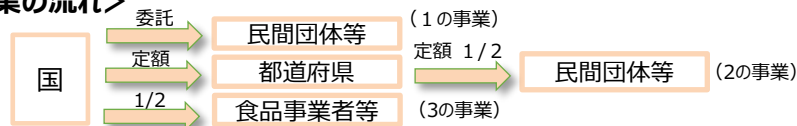
産地連携推進緊急対策事業

- ・産地への農業機械等の貸与、種苗の提供等

新技術導入緊急対策事業

- ・生産性向上に資する新技術（機械設備等）の導入

＜事業の流れ＞



【お問い合わせ先】（1、2の事業）新事業・食品産業部企画グループ（03-6744-2063）
（1、3の事業）食品製造課（03-6744-2089）